

## 資源・素材学会東北支部秋季大会および第14回若手の会

実行委員長 齊藤 貢 (岩手大学 理工学部)  
若手の会会長 鴨志田 直人 (岩手大学 理工学部)  
実行委員 晴山 渉 (岩手大学 理工学部)  
実行委員 関本 英弘 (岩手大学 理工学部)

### 1.概要

【日時】令和3年11月1日(月)13:00~18:00

【会場】Zoomを用いたオンライン開催

【参加者数】51名 (大学教員:14名、企業技術者:2名、学生:35名)

※Zoomのログイン数より計算

### 2.プログラム

(第1部)

13:00 開会挨拶

13:10 若手技術者講演

資源分野・・・・・・・・株式会社昭和石材工業所 水澤史生 氏  
素材・リサイクル分野・・・堺化学工業株式会社 麻田雅幸 氏

14:20 休憩

14:30 東北支部春季大会優秀賞受賞者インタビュー

久世萌日さん (東北大・院)

石田真英さん (東北大・院)

千葉拓永さん (岩手大・院)

佐藤就太さん (東北大・院)

15:45 総評

(第2部)

16:00 学生意見交換会 (オンライン座談会)

18:00 閉会の挨拶



### 3.実施内容

#### 1) 若手技術者講演会

資源・素材に関連する企業に所属されている水澤史生氏(株式会社昭和石材工業所)、麻田雅幸氏(堺化学工業株式会社)の2名から、ご講演をいただきました。現在の業務内容、業務上の課題、学生へのメッセージ等をご講演頂き、コロナ禍においても今後就職や進学を目指す学生にとって、非常に貴重な講演でした。

#### 2) 東北支部春季大会優秀賞受賞者インタビュー

資源・素材学会東北支部春季大会で優秀賞を受賞した4名の学生にインタビューを実施しました。ショートプレゼンの資料を説明してもらいつつ、司会から下記のような内容の質問をして、受賞者に回答して頂きました。

Q1 受賞したショートプレゼンテーションの内容を教えてください。

Q2 受賞から半年が経ちました。研究の進捗状況について教えてください。

Q3 コロナ禍での研究で工夫したところは何ですか。

Q4 研究活動で大変なことを教えてください。

Q5 大学院に進学して良かったことを教えてください。

Q6 これから対面での学会が再開されたら、何を楽しみたいと思いますか。または、学会に対して何か要望はありますか。

Q7 所属する研究室の雰囲気について教えてください。研究室の自慢できることは何ですか。また、反対に自慢できないことは何ですか。

Q8 発表のスライドには現れないことで、実験で一番苦労したことや時間が掛かったことはありますか。

Q9 賞を受賞したことで、研究への取り組みや生活で変化したことはありましたか。

Q10 会場からの質問。

コロナ禍で、大学間の交流が制限される中で、研究に取り組むための多くの工夫を知ることができる貴重な会となりました。

#### 3) 学生意見交換会（オンライン座談会）

対面式の若手の会であれば、ポスターセッションにより大学間の交流をするところですが、コロナ禍で対面による交流が制限されている中で、学生間の交流機会をつくるため、教員が参加しない形式の学生意見交換会を行いました。学生は、33名の参加でした。飲み物は、各自の部屋のパソコン前に、各自で準備してもらいました。まず、実行委員が司会をして、全体で乾杯を行った後に、学生はZoomのブレイクアウトルームの機能を用いて、6グループに分かれて、交流を行いました。グループは下記の通りに分けて行いました。

-----

(1)フリートーク 1回目(16:05~17:00)

【資】【源】【素】【材】【東】【北】の名前のついたブレイクアウトルームで、実行委員に割り振られたメンバーで、部屋ごとに自由な話題でトークをする。

※話題の例

- ・研究テーマについての質問
- ・新型コロナウイルスの各大学の対応状況
- ・研究室の雰囲気
- ・地域自慢(観光スポット、食べ物、地酒・・・)

(2)フリートーク 2回目(17:05~18:00)

各ブレイクアウトルームで話すテーマを実行委員が決め、好きなブレイクアウトルームに参加する。途中の移動も自由。入室時に簡単な自己紹介をする。

各部屋のテーマは以下のとおり。

【資】 研究について、とことん語りたい。

【源】 将来の進路・就職について語りたい。

【素】 新型コロナについて語りたい。

【材】 参加学生の地域(食べ物、観光地等々・・・)の話を語りたい。

【東】 溜まっている愚痴を吐き出したい。

【北】 お酒について語りたい。とりあえず飲みたい。

-----  
教員が各部屋をのぞくことは出来ないため、どのような会話がされたかは分かりませんが、後から感想を聞くと、他大学の話しを聞く機会がこれまで全くなかったので非常に楽しく交流できたとの話しがありました。2時間フルに使った活発な交流が行われていました。

